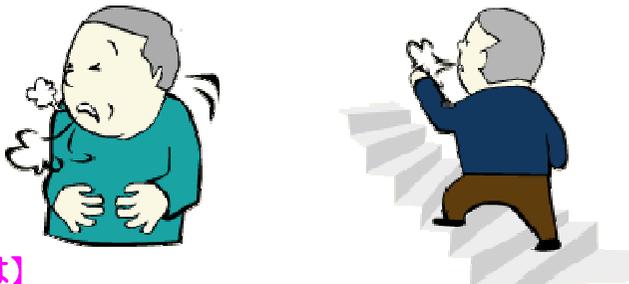




☆COPD（慢性閉塞性肺疾患）とは☆

COPDは従来、慢性気管支炎、肺気腫と呼ばれていた疾患です。慢性気管支炎、肺気腫を含むCOPDは、タバコによる気道や肺胞の炎症で生じ、肺の働きが低下します。COPDになると正常な呼吸が困難になり、せき、たん、息切れなどの症状がみられるようになります。せきやたん、息切れがしつこい。よくある症状なので、「あれ？」と思いつつも、そのままにいませんか？長引くなら注意が必要です。



【COPDの原因は】

いろいろありますが、最も最大な要因は喫煙です。別名“タバコ病”とも言われます。COPD患者の約90%が喫煙者です。※ここでいう喫煙には「受動喫煙」も含まれます。受動喫煙とは、タバコを吸わない人が、周りの人が吸ったタバコの煙を吸わされることをいいます。



【タバコはなぜいけないか】

肺・気管支などは、特に喫煙の影響を受けやすく、煙に含まれるタバコの有害物質による刺激で気管支が収縮したり、粘膜からの分泌物が増えてぜんそくなども引き起こしやすくなります。

【COPDの検査】

COPDは徐々に進行し、重症化する疾患です。早めに発見し、始める治療をことが重要です。

・問診・身体所見と簡単な検査で診断できます。

スパイロ検査

※スパイロ検査は簡単な肺の検査です。

当院でも検査をすることができます。



【COPDの治療】

・禁煙は治療の第一歩！！

タバコを吸っている方が、まず取り組むべきことが、禁煙です。

禁煙は、予防でもあり、最も重要で効果的な治療法です。

疾患の進行を遅らせ、重症化を防ぐことができます。

本数を減らすだけではダメです。完全にタバコと縁を切りましょう。

・肺炎球菌ワクチンの接種：急性増悪を防ぎます。

・薬物療法：息切れをやわらげ、運動能力を高めます。

・呼吸リハビリテーション。

・在宅酸素療法：COPDが進行し、低酸素血症になったときに導入します。

*タバコをやめようとしても、なかなかやめられずに、つい吸ってしまい、禁煙できないという方も多いと思います。この原因はニコチンのもつ強い依存性にあると言われる。当院では禁煙外来をおこなっています。禁煙したいがなかなか実行できないとお悩みの方はご相談ください。

【お知らせ】

今月から特定健診、がん検診がはじまりました。

早めの健診をお勧めします。